

主 文

本件上告を棄却する。

当審における訴訟費用（国選弁護士野口恵三に支給したるもの）は被告人の負担とする。

理 由

弁護士太田金次郎の上告趣意は、量刑不当の主張であり、弁護士野口恵三の上告趣意は憲法三六条違反を主張するけれども、その実質はまた量刑不当の主張（昭和二二年（れ）第三二三号同二三年六月二三日大法廷判決集二ノ七、七七七頁参照）であつて、何れも刑訴四〇五条の上告理由に当たらない。また記録を調べても同四一条を適用すべきものとは認められない。

よつて同四一四条、三八六条一項三号、一八一条により裁判官全員一致の意見で主文のとおり決定する。

昭和二八年五月二〇日

最高裁判所第二小法廷

| | | | | |
|--------|---|---|---|-----|
| 裁判長裁判官 | 霜 | 山 | 精 | 一 |
| 裁判官 | 栗 | 山 | | 茂 |
| 裁判官 | 小 | 谷 | 勝 | 重 |
| 裁判官 | 藤 | 田 | 八 | 郎 |
| 裁判官 | 谷 | 村 | 唯 | 一 郎 |